

School Library 10月号

令和6年10月23日発行 担当：前期図書委員会3年生

10月も折り返しですね。ちょっと前まで暑かったのに、朝晩は少し肌寒くなってきました。秋はお月さまとてもきれいに見えます。合唱祭練習も始まりました。体調に気を付けて過ごしてください！

三年生は先月、京都・奈良の修学旅行に行ってきました。本や教科書で見た寺社や仏像が実際に見られてとても良い経験になりました。そこで今月号の図書委員からのおすすめは京都・奈良の本を紹介します。一・二年生の皆さんはぜひ楽しみにしてください！

話は変わりますが、秋といえば読書ですね。ぜひ、図書館に来て本を借りて、読書の秋を楽しんでください！

(担当：3)



令和6年度後期図書委員を紹介します



	A	A	B	B	C	C
1						
2						
3						

委員長 副委員長 書記：

後期はこのメンバーで活動します。よろしくお願いします。

*只今、図書委員からおすすめの本のPOPを制作中です。出来上がったら図書館に展示しますので見に来てください！



私と読書 先生



中学校の時、授業の時にふと先生方が最近読んだ本の話がされることがあった。

理科の先生が化学反応と週末に磨く鍋の話から、日常の何気ない動作が、主人公の何とも言えない心情を抱えたシーンとつながり、思い出したと話されたこと。国語の先生が、教科書の文章からその景色に近い写真を思い出して、宇宙について書かれた本を読んだとき、世界の広がりや孤独さについて話されたこと。数学の先生が、公式について説明なさったとき、文化の違いによって、主人公の当たり前が当たり前ではないことに気付くシーンに驚かれ、英語の先生と文化の違いの面白さで盛り上がった話。

先生方のお話で興味を持つと、図書館で借りて読んでみることもあった。とても面白かったのでその作者の作品をあるだけ読むほどはまるものもあった。関連する面白い本を見つけたと、友達と互いに授業後にその本の話をしたり、行き帰りの電車で、先生が思い出されたきっかけについて話したりすることもあった。本によって広がった世界について話すことはなかなか幸福で、時には読み終わった本の世界が、もっと広がることがあった。

読んだ本について友達や先生や家族と語らう楽しい時間があるだろうか。一人胸の内にそっとしておきたいなにかもあるが、先生の楽しそうに話される姿を大人になっても何かの拍子に思い出す。

大人になって再び手に取ると、一度読んだはずなのに、全く違ったことに気付くことがある、ともおっしゃっていた。何回も楽しめる本に、多く巡り合いたいと思いながら、本を手に取ることがある。

(担当：3)

私と読書 先生



このプリン、いま食べるか？ガマンするか？



『このプリン、いま食べるか？ガマンするか？』
近日中入荷予定

時間について考える

皆さん、いろいろなことに毎日時間を使っていると思います。時間は、一人ひとりみんな一日24時間と決まっています。つまり、生まれてから10歳まで、20歳まで、30歳まで、40歳まで…。一人の人間が使える時間は決まっているということになります。

皆さんは、限られている時間の使い方について考えたり、悩んだり、困ったりといった経験はないでしょうか。

『このプリン、いま食べるか？ガマンするか？』

この本では、時間を「4つの時間」に分けて物事を考えています。「4つの時間」とは、「幸福の時間」「投資の時間」「役割の時間」「浪費の時間」。「幸福の時間」とは、やりたいこと、喜びを得られることをして幸せを感じる時間。「投資の時間」とは、目的のために努力している時間。「役割の時間」とは、やらなければならないことをしている時間。「浪費の時間」とは、無意識に過ごしてしまうムダだと感じる時間。

自分の一日の生活を思い出して、それぞれがどの時間に該当するのか考えてみましょう。同じ活動をしていても、人によって4つの時間のどの時間に当てはまるかは違うかもしれません。他人ではなく、自分にとってその活動がどの時間に当てはまるのかが大切です。

この本を読み、時間についての考え方を整理し、4つの時間の内、どの時間を増やしていくことが自分にとってプラスなのか、考えてみてはいかがでしょうか。

(担当：3)

図書委員がおすすめする本 «テーマ» “京都・奈良”



『京都たのしい
源氏物語さんぽ』

朝日新聞出版 913 頁

この本は、主に京都の社寺・おすすめのコース、歴史など、図を用いながらわかりやすく解説されています。紫式部ゆかりの地や「源氏物語」のメイン舞台をたのしくおさんぽできる15のコースを紹介しています。紫式部や「源氏物語」についての解説なども掲載。また、京都以外でも滋賀・兵庫・奈良・福井のおすすめコースも紹介されています。授業で習っていないところも詳しく解説しています。ぜひ読んでみてください。

(担当：3)



『京都たのしい
社寺カタログ』

片山直子著 175 頁

京都のおすすめの神社やお寺を「世界遺産」「見どころ」「四季」などのテーマに分け、写真やイラストとともに紹介されています。おみやげやグルメなどの情報も満載で、プロが教える拝観指南も収録。その場所の名物や関連している歴史などの細かな情報も紹介されていて、きれいなレイアウトでとても読みやすく、京都の旅が楽しくなります。来年修学旅行に行く2年生にはおすすめの本です。

(担当：3)



『歩く地図
京都散歩2025年』

成美堂出版 291 頁

今回私が紹介するのは、『京都散歩2025年』という本です。この本は、三十三間堂、清水寺、平安神宮、銀閣寺、下鴨神社、北野天満宮、伏見稲荷大社など、京都散歩43コースをエリア別に超詳細な地図とともにガイドしています。観光名所を散歩しながら見ることができ、道中の見所や有名なお土産などが書かれています。さらに全ての散歩コースが地図で示されておりその散歩コースの所要時間も書かれていて、京都に旅行に行くなら絶対に持っていた方がいい一冊です。

(担当：3)

